

雨の日の絵本



「ピカゴロウ」
ひろた だいさく／作
ひろた みどり／作



「あめふりさんぽ」
野村 平田 昌広／文
たかあき／原案・絵



「てるてるぼうずとふりふりぼうず」
せな けいこ／作・絵

ひなちゃんの元に落ちて来た、小さなカミナリさまの「ピカゴロウ」。雲の上のおうちから雲の下を見るのが大好きなピカゴロウは、下をのぞきすぎて落ちてしまったのです。さあ、雲の上のおうちに帰れるかな？

作者のひろただいさく氏とひろたみどり氏は大阪芸術大学卒業。「ピカゴロウ」で第37回講談社絵本新人賞を受賞した。

くうたら猫のねこきちが始めたのは「あめふり」売り。ねこきちが顔を洗うと、ざざざざーと雨が降ります。はじめは順調でしたが、きつねの嫁入りをめぐって村は大騒動に…。雨が楽しくなる、ことわざ落語創作絵本。

文章を書かれた平田昌広氏は1969年神奈川県生まれ。著書に「おとん」「おかん」「それいけ！ぼくのなまえ」等がある。

原案と絵を描かれた野村たかあき氏は1949年群馬県生まれ。木彫・木版画工房「てくの房」主宰。作品に「ばあちゃんのえんがわ」等がある。

雨が降ると嬉しい犬と、雨が嫌いな猫。猫はてるてるぼうずを作りお天気の歌を、犬はふりふりぼうずを作り雨の歌を歌っています。てるてるぼうずとふりふりぼうず、どちらが勝つのでしょうか？

作者のせなけいこ氏は東京生まれ。武井武雄氏に師事。日本児童出版美術家連盟会員。「いやだいやだの絵本」で産経児童出版文化賞受賞。ほかの作品に「おぼけのてんぷら」「ばけものづかい」等がある。

6月の催しもの

とき	催しもの
10日(土)・午後2時～	夏のおはなし会
17日(土)・午前11時～正午	父の日のメッセージカードづくり
25日(日)・午前11時～午後2時	子どもビデオ劇場
毎週月曜日	あかちゃん絵本よみきかせ会
1・8・15・22日(木)・午前10時～午後0時30分	あかちゃんクラブラッコールム
3・17・24日(土)・午前11時～	「おはなし」と「あそび」の広場

◆蔵書点検とコンピュータ点検による休館について
休館期間：6月27日(火)～7月6日(木)
※これに伴い、6月14日(水)から26日(月)までの間、資料の貸出期間を4週間とします。

その他の雨の日の絵本

- ◆「わんぱくだんのてるてるぼうず」
ゆきの ゆみこ／作・上野 与志／作
末崎 茂樹／絵
- ◆「あめあめばらん」
木坂 涼／文・松成 真理子／絵
- ◆「かみなりなんてこわくない」
ジェイミー・A・スウェンソン／ぶん
デイヴィッド・ウォーカー／え
ひがし かずこ／やく
- ◆「みずたまり」
殿内 真帆／作
- ◆「イーラちゃんとあめふりピアノ」
しまだ ともみ／作
- ◆「わたしのかさはそらのいろ」
あまん きみこ／さく・垂石 眞子／え
- ◆「あめふりさんぽ」
えがしら みちこ／作

俳句

「春雷」

ふそう俳句会

春雷の聞こえぬふりの朝寝かな

会田 宗和

山ざくら色即是空と風に散る

一色 無音

紫を岸辺にたらし花あやめ

永井 年國

川柳

扶桑川柳クラブ

悔のない一日だった日記帳

高木 節子

黒光り使い慣らした両手鍋

高野瀬徳子

痛くない転んだ後の涙声

飯田 秀水

短歌

「花毬」

ふそう短歌会

紫陽花は藍深めつつ花毬の

北村 久子

円み広げて小宇宙めく

北村 久子

「父の日」のひらがな並ぶ娘の手紙

赤尾 洋子

黄ばみたれども今も厨に

赤尾 洋子

虫喰いの痕いたましきキャベツ畑

鈴木 淑子

蝶々は晴れの舞台と舞えり

鈴木 淑子

詩吟

「感有り」

山崎闇齋

坐に憶う天公の世塵を洗うを

山崎闇齋

雨過ぎて四望更に清新

山崎闇齋

光風霽月今猶在り

山崎闇齋

唯缺く胸中灑落の人

山崎闇齋

「意」雨過ぎた後のあちらこちらの眺めの清らかさ。雨後の風と月は昔も今も変わらないが、心のきれいなさっぱりした人のなくなつたのは残念である。

正風流二代目家元 山内 正風